



個人で、自発的に、自分で見つけるボランティアの勉強会

庄内地区で活動する団体が何をやっているか知っていますか？

松本市社会福祉協議会庄内支会

会長 有賀 由延

松本市社会福祉協議会庄内支会は、社協に協力すると共に地域の福祉活動を自主的に行うことを目的に昭和五十四年十一月に結成されました。

組織は、庄内地区の各町会なのですが、総会の出席対象者から判断すると、町会長と民生児童委員会と健康づくり推進委員会により構成されています。活動としては、構成

団体の活動支援をはじめとして、福祉ひろばの活動、ふれあい会食会や敬老の日行事に對して資金の助成を行っております。共同募金や日赤の社員拡大と社資取り扱い事務や関連した助成事業の取り組みも担当しております。これらの多くは社協の予算で賄われており、社協の事業と地区住民との繋ぎ役として活動しています。昨年は、講座を開き互いに助け合い支え合つて安全で安心して暮らせる地域づくり推進のため、ボランティアの会を立ち上げました。以上、概要を説明しましたが、支会の活動も、自主的な奉仕活動なので限界を感じますが、庄内地区のために、今後も皆様のご要望にお応えできよう努力してまいります。

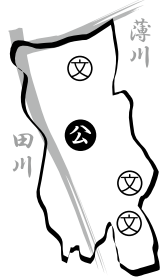
松本市赤十字奉仕団 庄内地区分団

総務部長 上松 賢司

松本市赤十字奉仕団庄内内地

館報

庄内



庄内地区	
平成26年9月1日現在人口	
世帯数	6,693戸
男	7,456人
女	7,468人
合計	14,924人
発行	庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)
電話	24-1811
FAX	24-1812

区分団が設立され、四年目を迎えました。本年度から分団の事業方針を明確にするために組織としての理念と行動指針を決めました。

本年度の自主事業として、「全員参加による炊き出し訓練」を主要な事業に掲げ、最初は庄内地区の第三ブロックの分団員を対象に実施しました。災害時は、インフラが遮断していることを想定して、薪を燃料とした炊き出しを行いました。昨今は火を使う機会がないことから、ロケットストーブを使用した火の焚き付け方を学び、炊飯容器は身近にあるアルミ鍋を使用しました。今時、アルミ鍋を使用したご飯炊きは、初めての方が多く、30分の米の浸し後20分で炊きあがることに参加者は感心していました。今後は、団員向けの事業として、日赤長野県支部の職員による講演会を予定しており、その一環として、災害時を想定した避難所体験ゲームを行います。このゲーム形式による災害時の避難所で被災

された方々をどのように受け入れるかを模擬訓練として体験して頂き、災害時に生かして頂くことが主な目的です。また、最近マスコミでよく見かける「炊き出し機動部隊みらい」による講演会と、ひとつの鍋で一度に複数の副菜を調理する方法の講習会を予定しております。



各町会選出の団員による炊き出し風景

地域づくりセンターから

7月に設立された庄内地区まちづくり協議会は8月29日に具体的な取り組みを行う専門委員会の一つ「防災委員会」が立ち上がり、いよいよ活動が始まりました。

防災委員会は今年度、避難所運営に向けた取り組みとして、防災マップの作成を行います。皆さん、御協力をお願いします。



町会長の参加する会議は松本市関係・庄内地区関係や自町会関係を合わせると毎週何らかの会議があるようである。

しかも会議は、昼間であったり、夜であったりしている。自町会のため、庄内地区のためと言われるが、なかなか会社勤めの人は、町会長の職は全うできないと思う。

庄内地区の各町会長選びは、二年に一度、来年の十月ごろから、水面下にて次期町会長選びがはじまる。現町会長はさぞ頭が痛いところだと思ふ。町会長と言えば、昔は名誉職。今は小間使い。

今後団塊の世代が町会長候補になって来ると思われるが、団塊の世代は元気でリタイヤしてもまだまだ再就職して頑張っている。そんな人たちははたして町会長をやるのだろうか。ますます町会長のやり手がいなくなる。

ここで提案ですが、町会長の出る会議を月一度にし、松本市の職員を各町会に向わせ、町会運営・地区運営をしてはどうでしょうか。ならば町会長のやり手が現れ易くなると思ひますが・・・。(西口賢一)

庄内地区衛生協議会

会長 有賀 睦夫

庄内地区衛生協議会は上部組織の松本市環境衛生協議会連合会及び行政と密接に連携をとりながら、庄内15町会の衛生部長を中心に衛生活動の向上に取り組んでいます。

活動の第一は環境の維持改善です。毎日沢山のゴミが発生しています。皆さん一人一人がキチット分別してゴミ出しをして下さるので、松本市が回収するゴミの18%は資源化し、再利用されています。それ以外は焼却か埋立ゴミになっています。もつと焼却を減らすか資源化率を高く

「中信」ほんごひろば

代表 勝家 正廣

公民館共催「中信にほんごひろば」は、四年前から市内で最も外国籍の方が多い庄内地区で、主に子どもやその親を対象に日本語や教科学習を支援しています。仕事や結婚など親の都合で来日した子どもは「言葉の壁」から授業についていけない、進学が難しい、などの問題があります。そして親も学校のことが分かりづらく、日常生活でも日本人との相互理解を深める必要があり、庄内地区公民館と県



営並柳団地集会所の二か所です。同時に、毎週日曜日午前10時から一時間半程度活動しています。学習は、本人の語学力や希望に応じた会話または教科をなるべく一対一で支援しています。時には、各国の料理が並ぶお食事会、ハロウイ

「家において何もしないよりも、地域のお役に立ちたい」というボランティア精神豊富な方が大勢います。このような活動に興味のある方は、ぜひ様子を見に来ていただきたいと思えます。未経験の方歓迎です。

ンやクリスマスでのお楽しみ会も開催して親睦を深めています。集会所では、民生児童委員が毎回出席して、生活に関する困ったことわからないことなどについて、相談に応じる体制をとっており、心強くとてもありがたい存在です。支援者は不足気味ですが、



オオキンケイギクの駆除 外来植物の抜き取り

めたいものです。一方、清掃活動では大勢の人が道路脇で草刈りをしたり、深い排水路で泥上げをしたり、危ない作業が伴うので、ケガや事故のないよう安全配慮に徹するようにしています。活動の第二は環境美化の推進です。ポイ捨てをなくし、いかがわしい掲示や不法放置をやめて、きれいなまちづくりをしながらはいきましょう。街頭デモやビラ配布、声かけなど啓発活動を行います。また美化巡視員には監視行動を通じて正意識を高めるようにしています。活動の第三は特定外来生物の駆除です。近年外国との物流が盛んで、繁殖力の強い生物が国内に持ち込まれ、繁殖しています。在来生物を保護するため、特に繁殖力の強い外来生物を指定して重点的に駆除するよう提案されています。庄内地区では植物で「アレチウリ」と「オオキンケイギク」が対象となっています。

文化委員会

委員長 小沢 勝

ゆめひろば庄内に入ると、二階へ上がる階段の右下の角に小さな踊り場があります。文化委員会でそこに、松本平の季節の風物詩として、小正月、ひな人形、武者人形と鯉のぼり、平和を願う七夕飾り、青山様とぼんぼん、手作りカカシ、クリスマス飾りと、委員八名が年間行事に合わせて飾り付けを行っています。私も自分の子ども時代のことや、様々な思いを馳せながら、飾り付けをしています。特に昨年の秋にはカカシの作成に当たって事前の打合わせで、過去にないカカシを作ろうと決まりました。当日は全員で、各々の思いを込めて新しい五体のカカシが実りの



館報編集委員会 館報の発行、年6回

秋に相応しく誕生しました。これは庄内地区公民館最大のイベント「ドリーム庄内秋のつどい」に合わせて飾ったので、来館者の皆様にも見ていただけたかと思えます。今後、庄内地区公民館のロビーに、地元松本平の文化や風習をわかりやすく展示していきます。皆様からのアイデアも募集していますので、よろしくお願いたします。

平成26年8月10日執行

長野県知事選挙 庄内地区 町会別投票率

長野県投票率 43.56%
松本市投票率 37.12%
庄内地区投票率 33.04%
(市内35地区中34番目)

町会名	投票率	町会名	投票率	町会名	投票率	町会名	投票率
出川町第1	32.18	三才	32.28	筑摩東	30.81	並柳団地	22.52
逢初町	38.79	庄内町	29.89	豊田町	32.90	南新町1丁目	30.12
出川町	34.38	新家町	35.54	中林	35.26	南新町2丁目	26.19
神田	39.50	筑摩	31.49	並柳	33.31	庄内地区	33.04